

3月23日(水)までに 主要10港、 接岸可能。

一刻も早く。



航路啓開状況・仙台塩釜港 (沈んだコンテナの除去)



航路啓開状況・仙台塩釜港 (沈んだクルマの除去)



航路啓開状況・石巻港 (流出した木材の除去)

被災3日後から、港湾内の障害物を取り除く航路啓開を開始。

3月13日夕刻の津波警報・注意報の解除を受け、翌14日早朝から海に流出、または沈んだコンテナやクルマ、漁網などの回収を行う航路啓開が開始された。

被災地への支援を第一に、宮古港、釜石港、そして東北最大の港湾である仙台塩釜港を優先して啓開。その後、3港以外の主要な港湾にも展開された。被災後5日目となる16日には、釜石港に緊急物資船が入港。23日までに被災10港で、暫定の航路が確保され、海上からの緊急物資の搬入が可能となった。

また、震災から10日目となる21日には、仙台塩釜港にオイルタンカーの第一船が入港し、深刻を極めていた燃料不足が緩和された。



岩手県宮古港
緊急支援物資船入港
2011.3.16



宮城県仙台塩釜港
オイルタンカー入港
2011.3.21

■ 3月21日～31日までの入港実績

3月21日～26日
2,000Kl級タンカー 8隻
..... 燃油約16,000Kl
3月27日～31日
5,000Kl級タンカー 12隻
..... 燃油約37,000Kl
計 燃油約53,000Kl

※宮城県内で1日に必要な燃料(ガソリン約3,700～4,500Kl)

画像提供：石油連盟